

令和6年度 栃木県立日光明峰高等学校 学校評価シート（案）



学校教育目標

- 伝統や文化に立脚した広い視野を持ち、自己実現に向けて個性や能力を伸ばし、人生を拓いていくことができる人間の育成
- 他者への思いやりと規範意識を持ち、多様な人々と協働しながら、社会の一員として地域に貢献できる人間の育成

本年度の重点目標

- 特例校としての「学校力」を最大限に発揮するための学校経営の充実
- 生徒一人一人に、自らの成長を実感させる指導・教育活動の充実

評価	
A	達成できた … (80%以上)
B	ほぼ達成できた … (80%～60%)
C	十分とは言えない … (60%～30%)
D	達成できなかった … (30%以下)

学校自己評価					学校関係者評価			
学校評価実施概要					達成状況と評価			
評価区分	評価項目	重点施策	具体的方策	方策の評価指標	方策の達成状況	部分評価	次年度における改善策	令和7年2月4日実施 評価、意見等
(1)	魅力化・特色化の一層の推進	①ウィンタースポーツの強化、地域の教育資源の活用等、魅力や特色ある教育活動の展開	外部指導者の活用による専攻実技の充実・ウィンタースポーツの強化	外部指導者の活用状況 各種大会の実績	アイスホッケー部で専攻実技に外部指導者を活用。大会の実績面でも健闘。	A	・「日光学」など特色ある教育活動のさらなる充実と今年度で終わる県教委と三菱みらい育成財団助成金に代わる新たな財源の検討と内容の見直し。 ・中学校への情報発信を重視し、本校の魅力や教育成果等の周知を丁寧に行う。	・中学生が明峰高校を選ぶ理由として、学び直しができるからという声をよく聞く。中学生にも認知されている取組ができていると感じる。日光学を学びたいという生徒もいる。明峰高での学校生活を中学生も楽しみにしている。次年度以降もこれらの取組を是非継続してほしい。
			総合的な探究の時間の増単位に合わせた「日光学」の発展的拡充	地域連携活動の実施状況と学校評価アンケート(生徒・保護者)結果分析	他県高校との交流拡大、地域連携活動の充実、生徒・保護者・教員の肯定的評価約9割。	A		
		②学校運営協議会と連携を図った学校経営と教育成果等の積極的なPRによる入学者の確保	HP・広報誌等の活用による広報活動の推進	進路希望調査・志願者数の推移、広報活動状況の分析	働き方改革の一環として明峰だより発行を学期に1回へ。HPは随時更新。進路希望者数は昨年度より減少。	B		
			一日体験学習や中学校訪問等による中学校との連携	参加者数の推移 参加者アンケート結果分析	一日体験学習参加者は昨年度より減少したが、アンケート結果は良好。	B		
(2)	個に応じたきめ細かな指導の充実	①学び直しやIT等による指導の工夫・改善と発展的な力を伸ばすための指導の充実	教科会や授業研究をととした観点別評価に基づく授業改善の推進	教科会、授業研究等の実施状況、学校評価アンケート(教員)結果分析	中学校教員対象公開授業や中堅研での研究授業を実施。各教科で工夫を重ね生徒の実態に即し授業を実施。	B	・ルーブリックや評価基準等の見直しやブラッシュアップ。観点別評価についての職員研修の充実も求められる。 ・個別の教育支援計画の作成及び活用に係る具体的手順等を改善し、生徒の実態に更に即した運用を図る。	・生徒と保護者の学校評価アンケート結果を比較すると差に開きがあるように感じる。学校から保護者に向けて積極的に分かりやすい情報を発信することが求められる。 ・本校への満足度を問う設問について、生徒より保護者の方が数字が高くなっている。子どもの成長に必要な指導は嫌われる傾向にあるが、保護者にとってはありがたく感じることもある。その結果が反映された数字だと思う。 ・観点別評価のあり方など、先生方も試行錯誤しながら取り組んでいる様子が見える。大学としてもお手伝いできることがあるので、是非相談してほしい。 ・地域連携、他校との連携、ウィンタースポーツなど、これまで数々の成果をあげてきた。今後、生徒数や教員数、予算面等で厳しい状況になっていくかもしれないが、これまでの実績を無駄にしないよう引き続き学校経営をお願いしたい。
			各種検定受験の推奨と指導の充実	受験者数・合格者数の推移 学校評価アンケート(生徒・保護者)の結果分析	昨年に引き続き、商業科の検定を筆頭に、情報科・英語科・国語科の検定でも良好な状況。	B		
		②教育相談・特別支援体制の充実と自主性・主体性を育てる指導の工夫・改善	課題や悩み等を抱えている生徒の早期発見とSC等と連携した組織的な対応	SCの活用状況 サポート会議等の実施状況	SCを計画的に活用。サポート会議も毎回行い、組織的な教育活動を展開。	A		
			通級による指導を含めた支援体制の拡充、個別の教育支援計画の活用	個別の教育支援計画の実施状況及びその評価結果	個別の教育支援計画を概ね適切に活用した。通級による指導を実施し、対象生徒のニーズに概ね対応。	B		
(3)	社会的自立に必要な力を育成する指導の充実	①地域社会と連携した教育活動の充実と3年間を見通したキャリア教育の推進	進路別見学会やインターンシップなどのアクティブラーニング型の進路学習の充実	進路行事の実施状況と学校評価アンケート(生徒・保護者)結果分析	生徒・保護者の肯定的評価8割以上。	B	・生徒の意見を踏まえた服装・頭髪等の規定見直しに、引き続き柔軟に適切に対応していく。	
			全体計画に基づいた計画的・体系的な指導体制の構築	学校評価アンケート(生徒・保護者)結果分析	生徒の肯定的評価8割、保護者評価7割以上。	B		
		②「礼・挨拶・身だしなみ・清掃」の徹底と基本的生活習慣の定着のための指導の充実	生徒の意見も参考にした服装や頭髪に関する規定の見直し	規定の見直し状況、学校評価アンケート(生徒・保護者)結果分析	昨年度、生徒の意見も参考に規定の見直しを実施。今年度も肯定的評価は約7割以上だが昨年度より減少。	B		
			生徒会委員会活動と連携した挨拶運動や美化活動の充実	委員会活動の実施状況、学校評価アンケート(生徒・保護者)結果分析	挨拶運動や清掃強化週間を実施。生徒・保護者の肯定的評価約8割以上を維持。	B		
(4)	職場環境の改善と安全・安心な学校づくり	①業務の精選・効率化と生徒及び教職員がいきいきと生活できる学校づくりの推進	業務の精選や見直しによる効率的で効果的な教育活動の実践	学校評価アンケート(教員)結果分析	学校行事や業務を見直したり、欠席連絡等のICTの活用。	B	・配布プリントを電子化する等これまで以上のICT活用の推進。また職員間での情報共有等により、協働体制や学校組織の強化に取り組む。 ・校務支援システムの操作方法や教育DX、観点別評価など様々な教員研修が必要である。あらかじめ年間計画に位置づけておくなどの工夫が求められる。	
			教職員間のコミュニケーションの活性化と職場環境の改善	学校評価アンケート(教員)結果分析	学年会や主任会等の定期的実施。肯定的評価約7割。	B		
		②学校事故の未然防止のための教育計画・教育活動の点検・実施の徹底	効果的・効率的な安全点検体制の確立	学校評価アンケート(教員)結果分析	安全点検を毎月実施。施設・設備の異常を早期に発見し、関係職員と改善措置を実施。	B		
			PDCAサイクルに則った防災訓練の実施	防災訓練の実施状況、学校評価アンケート(教員)結果分析	年間をとおして計画的に避難訓練を実施。今年度は外部講師を活用した。肯定的評価9割。	B		